

ロータスクイーン 記号 ORNS-1005FIN

SDS・orient1048・SMF

作成日：2016年01月25日

1. 化学物質等及び会社情報

製品特定名 ロータスクイーン

会社名 株式会社スカイレインボー

e-mail : skyrainbow3729@yahoo.co.jp 電話番号045-444-8214 FAX 番号 045-444-8217

推奨用途 動植物性油脂対応多目的洗剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	分類対象外	
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分1
	（通常使用において10倍以上の希釈液では上記全て区分外。）	
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分3
	（通常使用において5倍以上の希釈液では区分外。）	

※ 記載の無いものは分類対象外又は分類できない。

GHS のラベル要素

シンボル



（10倍以上の希釈液では該当しない。）

注意喚起語	危険	（10倍以上の希釈液では該当しない。）
危険有害性情報	皮膚刺激	（10倍以上の希釈液では該当しない。）
	重篤な眼の損傷	（10倍以上の希釈液では該当しない。）
	水生生物に有害	（5倍以上の希釈液では該当しない。）

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名／化学名	含有量 Wt%	CAS. No.	化審法 No.	安全衛生法 No. 通知対象物	PRTR 法 No. 第1種, 第2種
水	>89	7732-18-5	—	非該当	非該当
非イオン系界面活性剤	<5	非公開	—	非該当	非該当
脂肪酸ジエタノールアミド	<5	非公開	—	非該当	非該当
グリコール系溶剤	微量	非公開	—	非該当	非該当
ビルダー	微量	非公開	—	非該当	非該当
除菌剤（塩化ベンザルコ ニウム）	<1	非公開	—	非該当	非該当
pH 調整剤	微量	非公開	—	非該当	非該当
色素	微量	非公開	—	非該当	非該当

4. 応急措置
- 吸引した場合 万が一気分が思わしくない場合、空気の新鮮な場所に移り安静を保つ。
- 皮膚に付着した場合 皮膚に対する刺激は少ないが、長時間の皮膚接触は避ける。
- 目に入った場合 直ちに清浄な流水で十分洗浄した後、眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 直ちに吐き出し、うがいした後医師の手当てを受ける。
5. 火災時の措置
- 消火剤 本製品は引火しない。
6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項 作業の際、適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、等）を着用する。
- 環境に対する注意事項 河川等に排出され、環境へ影響起こさない様に注意する。
地方自治体の定める規定に従う。
- 回収方法 多量に漏出した場合、土嚢等で拡散防止措置取りながら回収する。
少量の場合、ウエスや雑巾等で拭き取る。
7. 取り扱い及び保管時の注意
- 取り扱い
- 「技術的対策」 換気の良い場所で扱う。
保護具（手袋、保護マスク、エプロン）着用。
- 「注意事項」 原液の眼への接触を避ける。
水禁忌物質との接触を避ける。
- 保管 「保管条件」 換気の良い冷暗所（常温可能）に保管する。
火気、熱源より遠ざけて保管する。
0℃以下、30℃以上又は直射日光の当たる保管場所は避ける。
8. 暴露防止及び保護措置
- 設備対策 取り扱い場所の近くに洗顔及び手洗い等の設備を設ける。
- 保護具 保護眼鏡特に必要としない。
- 保護手袋 アレルギー体質や肌の弱い人はゴム手袋を着用する。
- 保護衣 定められた作業衣、安全靴等着用する。
- 管理設定濃度 設定無し。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	水色液体。
臭気	わずかに原料臭有り。
水への溶解性	溶解。
比重	約 1.00
融点	0°C以下
沸点	100°C (水)
pH	7.0±0.5
粘度	5~6mPa·s
引火点	無し。
発火点	無し。
その他	特に無し。

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の取り扱い条件に於いては安定。
危険な反応	情報無し。
避けるべき条件	0°C氷点下以下及び30°Cを越える環境。
危険有害な分解生成物	情報無し。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 混合物判定理論値経口 LD50 (ATEmix) が 18000mg/L であるため区分外とした。 経皮 データ不足の為、分類出来ない。 吸入 データ不足の為、分類出来ない。
皮膚腐食性・刺激性	区分 1、2 各成分の合計による分類の計算式により 10% 以上となるので、区分 2 とした。 (通常使用において 2 倍~10 倍の希釈液では区分 3、10 倍を超える希釈液では区分外となる。)
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1 の成分を 3%以上含むので、区分 1 とした。 (通常使用において 4 倍~11 倍の希釈液では区分 3、11 倍を超える希釈液では区分外となる。)
呼吸器感作性	データ不足の為、分類出来ない。
皮膚感作性	データ不足の為、分類出来ない。
生殖細胞変異原性	データ不足の為、分類出来ない。
発癌性	データ不足の為、分類出来ない。
生殖毒性	データ不足の為、分類出来ない。

12. 環境影響情報

移動性	有り。
残留性/分解性	急速分解性 (原材料類似品の CO2 発生試験データによる)
BOD (5)	6,000mg/L
COD (Mn)	66,000mg/L
生体蓄積性	情報無し。
生態毒性	混合物判定理論値ヒメダカ 96 時間 L(E) C50m が 24.4mg/L であるため、区分 3 とした。ただし、 (通常使用において 5 倍以上の希釈液では区分外となる。)
その他	一般環境に廃棄しない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃液等の廃棄物は都道府県許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。 排水処理、焼却等で発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規法律に従い処理を行うか、許認可業者に委託する。 地域の規定に従う。
汚染容器・包装	容器等廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。 地域の規定に従う。

14. 輸送上の注意

陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等の法令に従い輸送する。
海上輸送	船舶安全法の定めに従う。
航空輸送	航空法の定めに従う。
国際規制	国連分類：該当しない。 国連番号：該当しない。

15. 適用法令

消防法	該当しない。
PRTR法	該当しない。
労働安全衛生法	該当しない。
毒物劇物取締法	該当しない。
船舶安全法	該当しない。
航空法	該当しない。
水質汚濁防止法	水素イオン濃度、BOD、COD 排出基準

16. その他の情報

引用文献等 化学品分類及び表示に関する世界調和システム（GHS）

（注意）

- ・ この情報は新しい知見及び試験等により改正される事があります。
- ・ 記載内容は現時点で入手出来た資料や情報に基づいて作成しておりますが情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。
- ・ 取扱い及び保管上の注意事項は通常取りの扱いを対象としたものです。
- ・ 特別な取り扱いをする場合、用途に適した安全対策を講じ実施願います。
- ・ 全ての化学品には未知の有害性が有り得る為、取り扱いには細心の注意が必要です。
- ・ 御使用者各位の責任に沿って、安全な使用条件を設定下さる様願います。
- ・ **本製品使用後は、必ず水ですすぐ様にして下さい。**